



# こもれび

地域から信頼され、地域の健康を支え続ける病院を目指して、みなさまと当院をつなぎ、森に差し込む“こもれび”のような、ひとすじの光をお届けします。

Nagasaki Prefecture Shimabara Hospital

2022 7月号



2022.5.6 がん診療センター開所式を行いました

## Contents

- ・地域の健康な未来を創造する  
院長 木下 明敏 ..... 2
- ・がん診療センターが開所しました  
副院長兼がん診療センター長 福田 実 ..... 3~5
- ・TQM委員会  
副院長 山西 幹夫 ..... 6~7
- ・市民公開講座を開催します ..... 8

## 病院理念

〈Mission〉  
地域の健康な未来を創造する

〈Vision〉  
良質な医療の提供に努め、地域から信頼され、地域の健康を支え続ける

## 基本方針

1. 安全・安心で質の高い医療を提供する
2. 患者への思いやりのある温かなチーム医療を行う
3. 職員が自ら学ぶ前向きな姿勢をもち、誇りを持って業務を遂行する
4. 医療を取り巻く社会環境の様々な変化に柔軟に対応できる経営の効率化と経営基盤の構築を図る
5. 患者、医療・介護施設から行政まで幅広く対話を図り、地域と連携し、選ばれる病院となる



# 地域の健康な未来を創造する

長崎県島原病院

院長 木下 明敏

理念とは、「このようにあるべき、こうありたい」という、それに向かって進んでいく姿勢を示すものであり、その組織が何のために存在しているのか、その使命は何であるのか、を指し示すものでなくてはなりません。これまで「患者さんの立場に立った医療」を病院理念として活動してきましたが、現場では既に浸透していると思っています。医療を取り巻く環境は日々厳しさを増しています。それに対して島原病院が中心となって、この島原半島地域の医療を支え、前に向かって進んでいくことが今後も求められています。

そこで、2022年4月から病院理念の見直しを行いました。院長がまず叩き台を作り、院内情報システムを使って病院職員全体へ周知し、管理者会議など種々の会議で議論し、メールでのやりとりなどでも意見を募り、改訂作業を進めていきました。文字通り、病院皆で作上げた理念です。

最終的に5月末に完成し、6月3日を病院理念の改訂の公示日としました。この日は、雲仙普賢岳大火砕流から31周年の節目となる日でもありました。多数の被災者を出した大火砕流で救護活動を行ってから30年経ちましたが、これからもこの日を忘れず、地域に根差し、「地域の健康な未来を創造する」という使命をもって、今後の10年、20年、30年と努力を続けていくことの決意を表明するためでもあります。

長崎県島原病院は、島原半島において災害医療、がん医療、感染症対策をはじめ多くの医療における拠点病院、基幹病院として活動してきました。これまで以上に、良質な医療の提供に努め、その活動を充実・向上させ、地域から信頼され続ける病院でありたいと考えています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

## 病院理念

### 〈Mission〉

地域の健康な未来を創造する

### 〈Vision〉

良質な医療の提供に努め、地域から信頼され、  
地域の健康を支え続ける

## 基本方針

1. 安全・安心で質の高い医療を提供する
2. 患者への思いやりのある温かなチーム医療を行う
3. 職員が自ら学ぶ前向きな姿勢をもち、誇りを持って業務を遂行する
4. 医療を取り巻く社会環境の様々な変化に柔軟に対応できる経営の効率化と経営基盤の構築を図る
5. 患者、医療・介護施設から行政まで幅広く対話を図り、地域と連携し、選ばれる病院となる

# がん診療センターが 開所しました

副院長兼  
がん診療センター長  
福田 実



2022年5月6日、長崎県島原病院がん診療センターを開所しました。日頃からご支援、ご協力いただいております島原市、南島原市、雲仙市ほか地域の方々並びに関係の皆様、設計・工事に携わってくださった皆様のご理解とご尽力の賜物と、心より感謝申し上げます。

がん診療センターの整備は2019年8月から進められ、2021年4月着工、2022年1月竣工しました。長崎県では初の建造物を伴ったがん診療センターの開設であり、建物内には、放射線治療部、薬剤調製室を含む外来薬物療法センター、緩和ケアセンター、がんサロン・図書室、センター長室などが配備されています。センター長として2022年4月に、私、福田実が着任しました。地域の要望に応じてがん診療レベルの向上に寄与します。

放射線治療部では、診療部長の小幡史郎医師を中心に放射線治療医2名（専門医・指導医1名）、放射線治療専門技師2名、医学物理学士4名、放射線治療品質管理士4名、放射線治療認定看護師1名で安全安心な放射線治療を提供しています。高精度放射線治療である定位脳放射線治療SRS/SRT、定位体幹部放射線治療SBRTや強度変調放射線治療IMRTを行ない、放射線治療部は日本医療機能評価機構で最高のS評価を6年連続で獲得しています。最新放射線治療機器 True Beam を更新したため高精度で安定し、回転型共同変調放射線治療VMATを新しくオプションにして、より迅速で快適な放射線治療が提供できるようになりました。HyperArcというオプションも搭載され、その機能はガンマーナイフやサイバーナイフに匹敵します。既存の治療内容をディープラーニングさせこれからの治療内容を刷新していくAI機能も搭載して

います。2021年度には2,573件の放射線治療を行いました。

外来薬物療法センターは、がん薬物療法専門医・指導医である菅崎七枝医師、がん化学療法看護認定看護師、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師を中心に従来の6床から10床に増床し2022年5月9日から稼働しています。静脈注射・輸液管理看護師（IVナース）はがん薬物療法において血管確保ができる最も高い院内認定レベルで現在院内に28名育成され、がん薬物療法の静脈注射や輸液管理を行なっています。このIVナースが患者さんの血管確保を行ない、安全で安心な薬物療法をサポートします。常時2名の薬剤師を配置して新たに設置した薬剤調製室で抗がん剤などの薬剤を調製し、



木下明敏 院長



古川隆三郎 島原市長

薬剤師が患者さんへの薬剤の説明指導も行なっています。薬剤調製室がセンター内にあることで調製後すぐに薬剤投与を行うことができますし、ガラス窓から薬剤調製の様子を見ることもできます。安全で安心な最新のがん薬物療法を提供していきます。2021年度には1,456件の薬物療法を行いました。

緩和ケアセンターは副院長の山西幹夫医師、緩和ケア認定看護師、緩和ケアチーム薬剤師を中心に多職種が連携し、患者・家族の様々な苦痛を軽減する知識と技術を提供し、患者と向き合い寄り添いながら、その人らしい生き方を家族と共に支えています。がん治療へ早期からの緩和ケア介入、在宅・介護施設などでの包括ケアの場での意思決定支援、心不全、認知症、腎不全、呼吸器疾患など疾患を問わず対応します。2021年度には552件の緩和ケア提供を行いました。

院内がん登録室では、林徳眞吉医師、診療情報管理士を中心に日本で“がん”と診断されたすべての人のデータの一つにまとめて集計・分析するために新規がん患者さんの登録を行なっています。がん登録は、がん医療向上のため一番基礎となる情報が得られる大事な役割を担っています。2021年度には626件の届出を行い、そのうち初回治療開始が520件でした。

研究研修部門では院内がんセンターボードなどを担当しており、私、福田が中心となり、各診療科の医師、看護師、薬剤師、療法士、検査技師、院内がん登録士、診療情報管理士、事務職など多職種が集まって、診断や治療の難しい患者さんの治療方針を毎月1回検討します。また、がん市民公開講座を毎年開催しています。2022年度は10月29日土曜日13時30分から15時まで当院研修ホールで開催予定です。市民の皆様はぜひご参加をお願い致します。

地域連携パス部門は、がんと診断を受け、手術が行われた患者さんへその地域の医療機関が連携して安全、安心で質の高い医療を提供する事を目的に作成されたがん連携パスを用いて拠点病院とかかりつけ医を連携するシステムです。蒲原行雄副院長を中心にかかりつけ医との協働を行なっています。

相談支援部門では、様々な悩みを抱えているがん患者さんとその家族に対してがんの情報を提供したり相談支援を行なっています。疾患のこと、経済的なこと、社会制度のこと、社会福祉士であるがん相談員を中心に医師、看護師、薬剤師、栄養士等の専門職と連携し対応しています。患者さんにご家族の不安や悩みを少しでも軽くするよう支援します。

最後に、長崎県島原病院がん診療センター開設にあたり長崎県、島原市、南島原市、雲仙市をはじめとした地域や職員ら関係の皆様にご感謝いたします。島原半島がん診療の要になるように、遠方まで行かなくとも安心して高いレベルの医療が受けられるよう努力して参りますので、これからもご支援、ご協力のほど心からお願い申し上げます。



開所式でのテープカット

# がん診療センター 各センター紹介

## 外来薬物療法センター



ベッド数が6床より10床へと増床され、ゆっくり治療ができるようリクライニングチェアが導入。薬物療法センター内に無菌調製室が完備され、速やかに治療開始できるようになりました。トイレはストマケアが行えるようなトイレが設置されました。



## 緩和ケアセンター

多職種や招聘医師を交えたカンファレンスができる場所が確保されました。また、図書室兼がんサロン室も完備され、がんに関する情報収集ができる場所が確保されました。



## 放射線治療センター



**TrueBeam(独製 VARIAN社製)導入。**  
特徴① 装備した3本のX線エネルギーにより、多様な症例に柔軟に対応することが可能となりました。さらに高線量率モードが複雑で高精度な治療に際して治療時間短縮できます。

特徴② 高画質、高精度な画像取得が可能となり、より正確にがん病巣と正常組織の把握ができます。さらに装置に統合された6軸の治療台に標的腫瘍へ精度高く照射できます。

特徴③ がん病巣への線量の投与重視であった従来の照射方法と比較して、IMRTは正常組織への線量低減が可能となり、患者さんの負担軽減につながります。



## ■ TQM委員会

副院長（TQM委員会委員長）  
山西 幹夫

### 1.どんな委員会？

この委員会は、島原病院の医療・サービスなどの質（Quality）の継続的な向上を図る（Management）ことを目的として設立されました。

Totalには、“職員全員”で取り組み、医療のみに関わらず病院が担う“機能全て”が対象となることを意味しています。

### 2.発足までの経緯

病院の質を担保するものとして、当院でも病院機能評価の受審をしています。受審に際してはその都度院内の体制を見直して対策を練るのが通常でしたが、2回目、3回目と受審を重ねる度に、継続的に病院の質を保つ必要性和、それを統括する組織の必要性を感じるようになりました。そんな中、日本医療機能評価機構で開催される医療クオリティマネージャー養成セミナーを院内職員3人で受講したのを契機に、そのメンバーを中心として、院内組織の立ち上げを行い、平成30年に発足しました。

### 3.これまでの実績

委員会は定期的開催（発足当初は月1回、現在は隔月）しています。主な協議内容は、病院機能評価受審時に評価が低かった項目や、さらなる向上をもとめて指導いただいた項目について、関係各部署とともに協議しています。また、他の取り組みとして、以下のことも実施してきました。

#### ① 院内職員へのアンケート

全ての職員に対して、病院の質に関わる改善点やアイデア募集をアンケート形式で行いました。その中で緊急度や重要度を勘案して、検討項目を抽出して、委員会内で対応を協議し実行をしました。委員だけでは気づかない指摘もあり、非常に有用であったと感じています。

#### ② 「サンキューカード」

フィッシュ哲学に準じた手法として、職場の中にお互い感謝する雰囲気を作り、意欲向上をはかるために、サンキューカードを始めました。投函されたカードは、その都度掲示し、年度末には一年間分をまとめて写真のようにデザイン化して掲示しています。また、最も多くのカードを貰った職員の表彰もしています。

投函すること自体にためらいもあるようですが、今後さらに根付いていくことを期待したいところです。



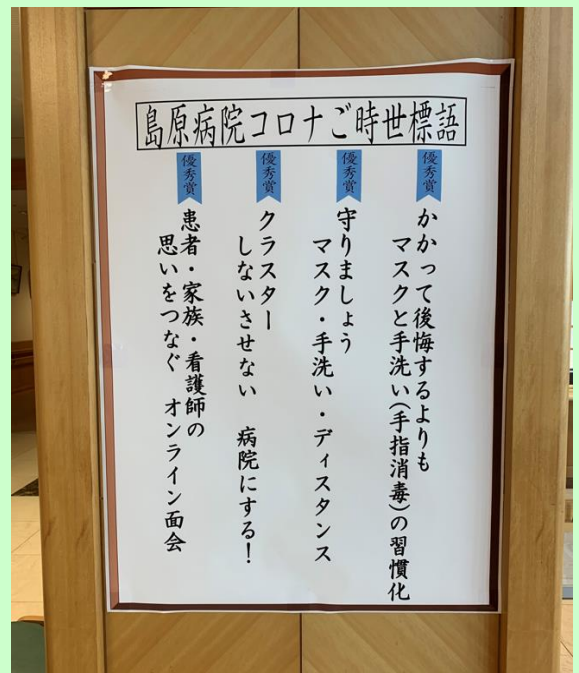
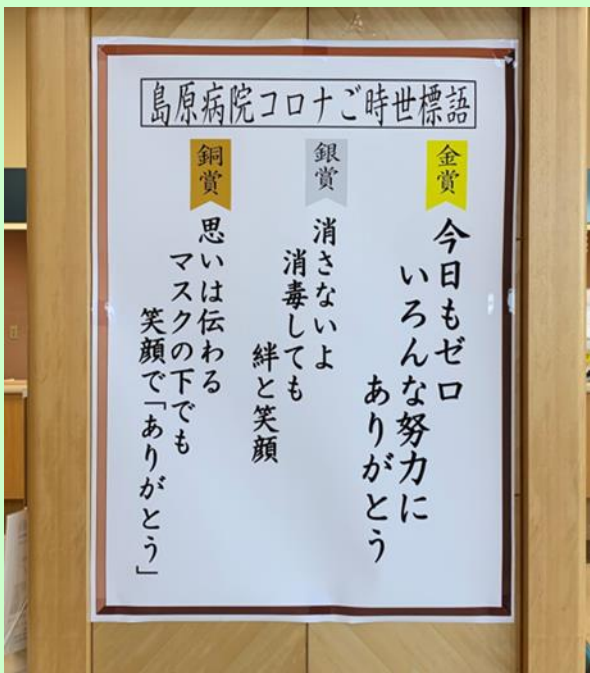
### ③「島原病院つながるプロジェクト」

コロナ禍の影響もあり、職員間の交流の機会が減ってきたため、名前も分からない関係が増えてきている印象があります。少しでもその解消ができ、職員間の潤滑剤になればとの思いで、部署毎に職員のプロフィール紹介を始めました。紹介は院内ポータルサイトに掲載し、いつでも閲覧できるようになっています。これによるサンキューカードの活性化も狙いたいと思っています。

### ④「コロナご時世標語」募集

第5波が鎮静化したタイミングで企画しました。

それまでのコロナ対応や自粛生活で疲れ切った病院職員や患者さん・地域住民に対して、感謝の気持ちや人間の優しさに呼びかける標語、来たる第6波に備えさらに予防意識の向上を促すような標語を病院職員より募集しました。いただいた作品の中より優秀作品を院内に掲示しています。皆さんの心に届けば幸いです。



## 4. 今後の展望

「病院の質」は多岐にわたり、まだまだ取り組みができていない多くの課題があります。まだ駆け出しの委員会で、十分機能しているとは言いがたい状況ですが、今後も課題の掘り起こしをして、質改善・維持に寄与できればと思います。

# 脳卒中市民公開講座を開催します

テーマ：脳卒中にならないために知っておきたい予防の知識

日時：令和4年10月1日（土）13：30～14：40

場所：①長崎県島原病院 研修ホール  
②WEB視聴



申込：①下記申込先へ平日12時～15時電話にて予約  
②島原病院ホームページ又は  
QRコードを読み込みネットで予約

講師：島原市有明保健センター 保健師 島田 久美  
長崎県島原病院 脳神経外科医師 林 之茂  
長崎県島原病院 管理栄養士 磯本 朗



# がん市民公開講座を開催します

テーマ：もっと知りたい！血液がんのこと

日時：令和4年10月29日（土）13：30～15：00

場所：①長崎県島原病院 研修ホール  
②WEB視聴



申込：①下記申込先へ平日12時～15時電話にて予約  
②島原病院ホームページ又は  
QRコードを読み込みネットで予約

講師：長崎県島原病院 血液内科医師 北之園 英明  
長崎県島原病院 がん化学療法看護認定看護師 金子 尚美  
長崎県赤十字血液センター 所長 木下 郁夫



ご予約  
お問い合わせ

長崎県島原病院 地域医療支援センター  
TEL 0957-63-1145